

イマカナ

支え合い

地域の介護福祉を紹介

FMおだわらで放送

地域から

地域住民に高齢者介護の情報を伝え、さまざまな疑問や悩みに答えようというFM番組が7月から小田原でスタートした。介護の知識や制度については、まだまだ十分に知られておらず、実際に介護に直面して、慌ててしまう人も多い。地域に根差した情報を分かりやすく伝える番組で貴重な企画となっている。

番組は「井口健一郎の市民を介護で困らせないミンナの介護」で、小田原市域のコミュニティー放送「FMおだわら」で、毎週水曜日午後4時半から同40分まで放送してい

る。井口さんは、同市で特別養護老人ホームなど数多くの介護事業所を運営する社会福祉法人「小田原福祉会」(時田純理事長)で、人材育成センター長を務めている。

パーソナリティーを井口さん、FMおだわらパーソナリティー小山由佳子



収録を行う小田原福祉会の井口健一郎さん(右)とFMおだわらパーソナリティーの小山由佳子さん(中央)

さんがアシスタントを務め、スタジオのほか、福祉施設などにも出掛け収録している。

第3回(7月18日)の放送では小山さんが「介護保険はいつから利用できるのですか」「申請してから結果(要介護度認定)が出るまで時間はどれくらいかかりますか」などと、介護保険制度の基礎について質問。井口さんが「結果は30日以内に出ます」などと、分かりやすく回答していた。

井口さんは「今後、小田原市内の介護関係者へのインタビューやリスナーからの質問に回答するなど、多彩な内容で、小田原市民の役に立ってほしい」と話している。放送は小田原市以外にも、インターネットのFMおだわらのホームページでライブ音声を聞くことができる。

(熊谷 和夫)